

- 昨年度の起業塾については Publickey に掲載しているとの報告があった。
- 委員より、起業塾のねらいについて質問があり、社会貢献として IT との組み合わせによって課題解決を行っている事例を広く周知することや、大学や事業アーキテクトコースの学生確保につなげることが目的である旨説明があった。

#### 《PBL キャンプについて》

- PBL キャンプについて、9月23日(金)から25日(日)に、佐藤委員等を講師として開催を検討中との説明があった。
- 学生募集については7月頃から行うこととした。

#### 《平成28年度のスケジュールについて》

- 平成28年度のスケジュールについて説明があり、詳細が決まり次第、改めて委員に連絡することとした。

#### 《その他》

- 教員研修について、本学のFD研修との合同開催を予定しており、講師は神戸大学大学院などからの招聘を検討している旨説明があった。
- 委員より今後の取組に関して以下のような意見があった。
  - ・ ブランディングには動画・静止画双方の活用が有効であり、大学に対して提案したい。
  - ・ 昨年度、スタートアップ戦略特論の講義の一部を担当したが、今回学生にフィードバックしていただいたことで、今後の事業方向性が見えた。
  - ・ 学生の発表内容に関心を抱いた。今後の収益モデルや競合の有無等に興味があるので、進捗を聞きたい。
  - ・ ケースメソッド研修はこちらとしても勉強になった。
  - ・ 韓国企業や韓国政府の未来科学創造部とのつながりがあるため、本事業ともつながりを持てるとよい。
  - ・ 本事業は次世代成長分野で活躍できる人材を養成することが目的なので、現在社会問題となっている認知症等を課題として取り上げてはどうか。
  - ・ 委員との連携を強めるべきである。NECの社員をアドバイザー等でPBLに入れてはどうか。NECではプロフェッショナルワークショップという取組を行っている。
  - ・ 年齢層の高い学生が学ぶモチベーションは何か。ブランディングの際には年代に応じて対策を考える必要がある。
  - ・ 20代～30代はFacebook離れが進んでいる。広報を行う際は効果的に周知できる媒体を選択する必要がある。

- 事例研究型授業のケースについては公開したほうがよいのではないかと。

## 2.2.2 第7回プログラム開発委員会

- 日時：2016/07/26(火) 16:00-18:00
- 場所：産業技術大学院大学 308 室
- 出席者
  - (産業技術大学院大学委員)
  - 國澤 好衛 氏(産業技術大学院大学 研究科長 創造技術専攻 教授)
  - 酒森 潔 氏(産業技術大学院大学 附属図書館長 情報アーキテクチャ専攻 教授)
  - 戸沢 義夫 氏(産業技術大学院大学 OPI 長 情報アーキテクチャ専攻 教授)
  - 小山 裕司 氏(産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻長 教授)
  - 越水 重臣 氏(産業技術大学院大学 研究科長補佐 創造技術専攻 教授)
  - 亀井 省吾 氏(産業技術大学院大学 特任准教授)
  - (外部委員)
  - 平山 敏弘 氏(日本 IBM 株式会社 上級 IT スペシャリスト)
  - 大久保 雅司 氏(NEC マネジメントパートナー株式会社 人材開発サービス事業部 シニアエキスパート)
  - 上野 新滋 氏(株式会社 FUJITSU ユニバーシティ エグゼクティブ・プランナー)
  - 佐藤 学 氏(サイボウズ株式会社 BPM 部 コラボレーションエバンジェリスト)
  - 松本 省二 氏(小倉記念病院 脳卒中センター長、脳神経内科部長)
  - 花田 徳康 氏(メドコネク株式会社 代表取締役)
  - 鴻巣 英典 氏(株式会社 mediba 事業開発ユニット エグゼクティブプロデューサー)
  - 劔持 勝 氏(イー・リゾート 代表)
- 議事内容
  - 《第20回FDフォーラム開催について》
    - 教員研修について、本学のFD研修と合同で実施し、筑波大学大学院の佐野享子氏を講師として招聘する旨説明があった。
  - 《事業アーキテクトコース履修状況について》
    - 事業アーキテクトコースの履修状況について説明があった。
  - 《平成28年度事例研究型授業について》
    - 平成28年度事例研究型授業について、ケース教材の説明があった。

《平成 28 年度事業アーキテクトコース PBL について》

- 平成 28 年度の事業アーキテクトコース PBL について、越水 PBL 及び戸沢 PBL の学生による発表があり、委員との意見交換を行った。
- 越水 PBL の学生による発表「生体情報計測デバイスを用いた訪日外国人向け観光支援アプリケーションの提案」に関して、釧持委員より、ポジティブとネガティブの指標だけで進めることは難しいのではないかと意見があり、学生から検討している指標や今後の方針等について説明があった。
- 松本委員より、脳波から人間の感情・感性を読み取ることの困難性やデータの紐付け方について質問があり、越水委員より、アメリカのベンチャー企業による脳波データの感情の指標等について紹介があった。
- 佐藤委員より、外国人が脳波の測定器を身に付けてくれるかどうか課題であり、測定器で音楽を聴けたり、翻訳ができるといったような付加価値を持たせてはどうかとの意見があった。
- 戸沢委員より、日立システムズと共同で進めている PBL「情報戦略と業務改革(BPR)提案」の概要について説明があった。戸沢 PBL の学生による発表に関して、上野委員より人月単価型の開発はベンダー及び消費者の双方にとって課題であるとの意見があった。佐藤委員より、発注する側も成長する必要があるとの意見があった。

《第6回・第7回起業塾について》

- 第6回及び第7回 AIIT 起業塾の募集状況について、参加者が定員を上回る見込みとの報告があった。
- 第7回 AIIT 起業塾について、マネーツリー株式会社のマーク・マクダッド氏が講師に加わる旨報告があった。
- 当日の様子について録画配信を予定している旨報告があった。

《平成 28 年度 PBL キャンプについて》

- PBL キャンプについて、佐藤委員及び集英社の長岡氏等を講師とし、開催を検討している旨説明があった。
- 佐藤委員より、他大学と共同で実施しているプログラムについての紹介があり、PBL キャンプのテーマ設定の参考にすることとした。
- 各委員の所属企業の中堅・若手社員に PBL キャンプに参加いただき、意見を頂くことを検討している旨報告があった。

《その他》

- 平成 28 年度のスケジュールについて説明があり、詳細が決まり次第、改めて委員に連絡することとした。

### 2.2.3 第 8 回プログラム開発委員会

- 日時:2017/01/24(火) 16:00-18:00
- 場所:産業技術大学院大学 269 室
- 出席者:  
(産業技術大学院大学委員)
  - 酒森 潔 氏(産業技術大学院大学 附属図書館長 情報アーキテクチャ専攻 教授)
  - 戸沢 義夫 氏(産業技術大学院大学 OPI 長 情報アーキテクチャ専攻 教授)
  - 小山 裕司 氏(産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻長 教授)
  - 越水 重臣 氏(産業技術大学院大学 研究科長補佐 創造技術専攻 教授)
  - 松尾 徳朗 氏(産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻 教授)
  - 亀井 省吾 氏(産業技術大学院大学 特任准教授)(外部委員)
  - 小内 克彦 氏(株式会社東芝営業統括部 デジタル・マーケティング推進室室長 兼 デザインセンター参事)
  - 大久保 雅司 氏(NEC マネジメントパートナー株式会社 人材開発サービス事業部 シニアエキスパート)
  - 上野 新滋 氏(株式会社 FUJITSU ユニバーシティ エグゼクティブ・プランナー)
  - 松本 省二 氏(小倉記念病院 脳卒中センター長、脳神経内科部長)
- 議事内容  
《最終成果報告講演会実施報告》
  - 最終成果報告講演会の開催について報告があった。  
《第 6 回・第 7 回・第 8 回・第 9 回起業塾実施報告》
  - 第 6 回・第 7 回・第 8 回起業塾の開催について報告があった。
  - 第 9 回起業塾の開催予定について説明があった。  
《PBL キャンプ実施報告》
  - PBL キャンプの実施について報告があった。